

# 農業経営及び耕作状況等に関する調査の主な集計結果

## I. 調査概要

### 1 調査の目的

近年、高齢化に伴う後継者及び担い手不足などから荒廃地が増加する傾向にあり、その対策等が課題となっています。そこで、町内に農地を所有されている方を対象に農地台帳の補正及び本町の農業の現状や課題を把握し、農業委員及び農地利用最適化推進委員と地区が一体になって課題の解消に向けた今後の協議資料として活用することを目的に調査を実施しました。

### 2 調査対象

精華町の農地台帳に登録されている町内に農地を所有されている方

- 【町内在住】 対象件数 1,466件
- 【町外在住】 対象件数 513件



### 3 調査方法

農業委員（14名）及び農地利用最適化推進委員（5名）の地元地区は、委員及び農家代表者等を通じて調査票の配付・聞き取り及び回収を行いました。

また、それ以外の方には、返信用封筒を同封して郵送により行いました。



### 4 調査期間

令和3年7月から8月31日まで

## II. 回収結果

調査票配付件数(対象件数) 1,979件に対して、回収件数は1,605件で、回収率は81.1%となりました。

- 【町内在住】 回収件数 1,340件 (回収率：91.4%)
- 【町外在住】 回収件数 265件 (回収率：51.7%)

(単位：件)

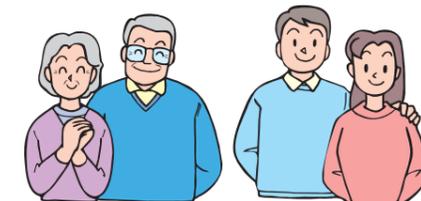
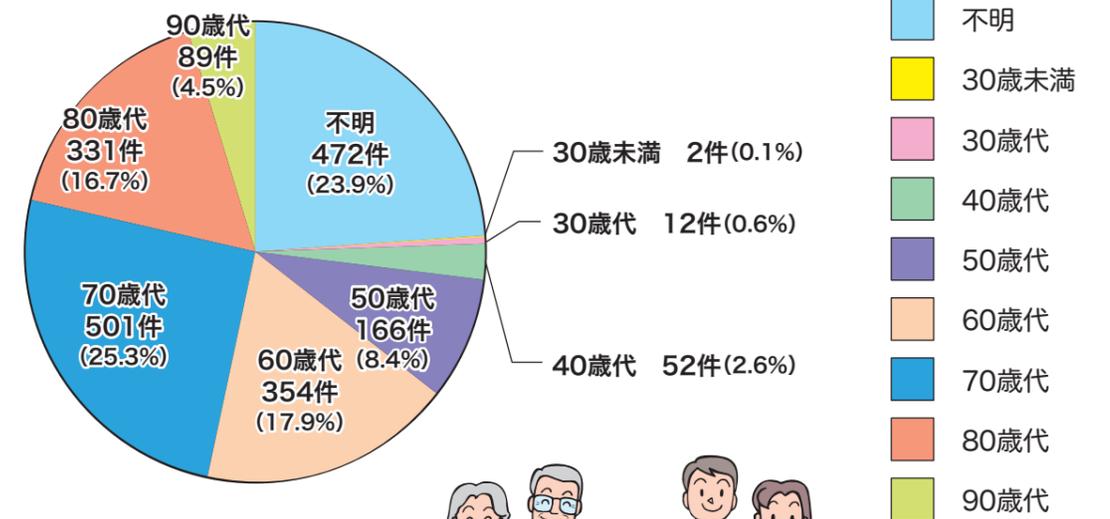
	回 収	未 回 収	合 計
町 内 在 住	1,340	126	1,466
町 外 在 住	265	248	513
合 計	1,605	374	1,979

※未回収件数には、宛先不明等による不達（未送達）を含んでいます。

## III. 主な集計結果

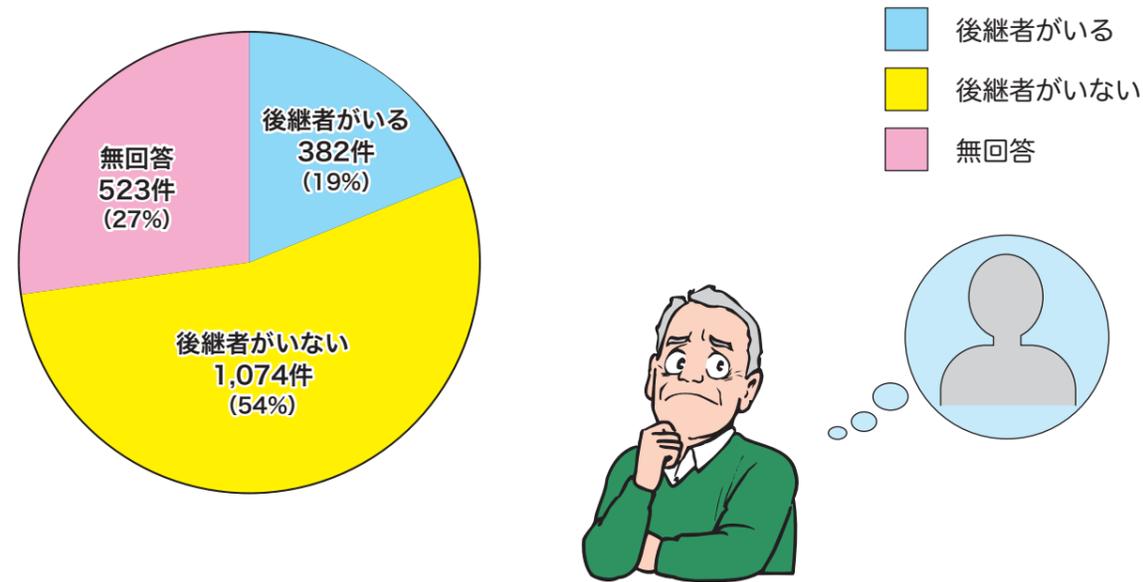
### 1 農業経営主（世帯主、主耕作者）の年代

60歳以上の世帯主若しくは主耕作者が「64.4%」と半数を超え、50歳代以下は「11.7%」となっています。



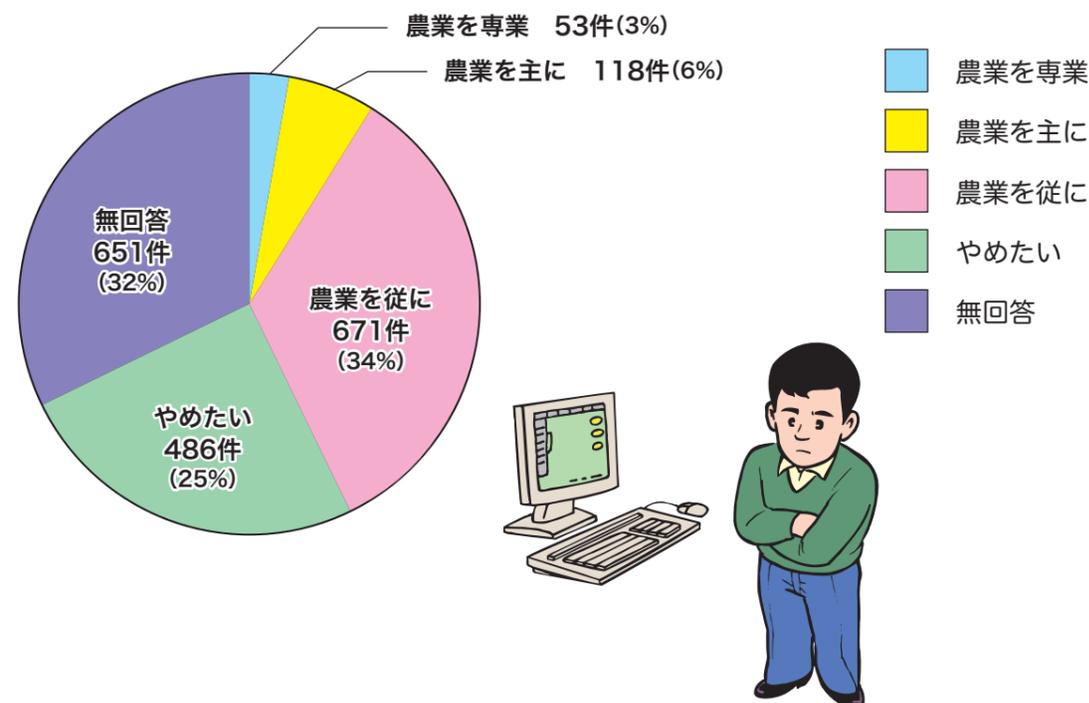
## 2 後継者

後継者がいる方は「19%」で、後継者がいない方は「54%」と半数を超えています。



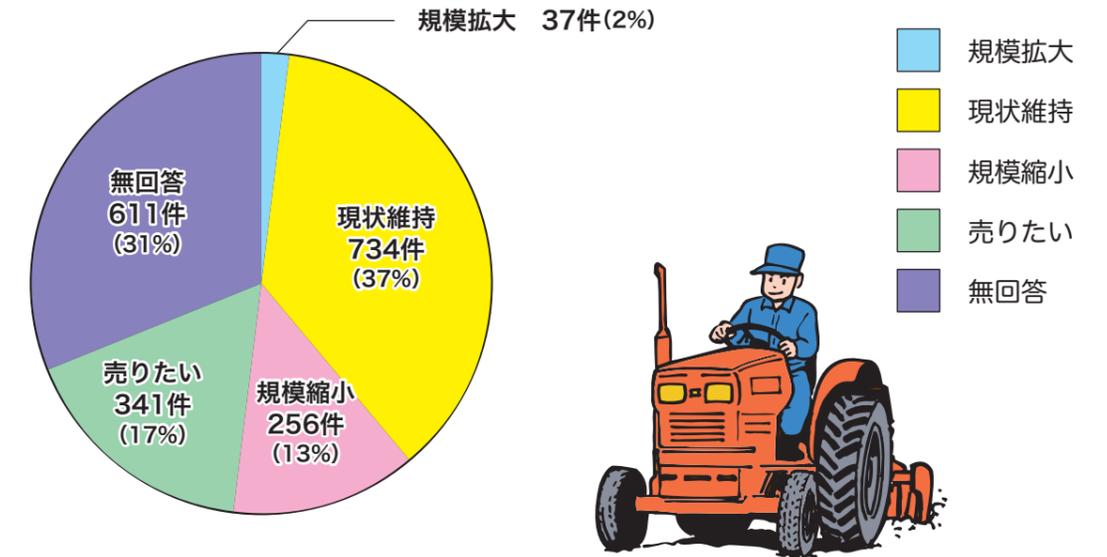
## 3 5年後の経営状況

農業を続けるという方は「43%」で、やめたいという方は「25%」となっています。



## 4 5年後の経営規模

農業経営規模について、一番多かったのは現状維持という方で「37%」、次いで売りたいという方が「17%」、規模縮小という方が「13%」となっています。



## IV. 主な集計結果からみる今後の課題

60歳以上の世帯主若しくは主耕作者の割合が64.4%を占め、50歳代以下の割合は11.7%と少ないことから、高齢化が進んでいることが分かります。

また、後継者がいないと回答した方が半数以上を占め、5年後の経営状況や経営規模については「農業を従にや現状維持」が一番多いものの「やめたい」が25%、「売りたいや規模縮小」が30%であることから、全国的な課題となっている「高齢化、担い手不足」という状況が本町においてもみられます。

なお、今後、農業委員及び農地利用最適化推進委員と地区が一体になって課題の解消に向けた協議を進めていくこととしています。

- ◆発行日
- ◆編集発行
- ◆問合せ先

2022年3月 発行

精華町農業委員会

精華町農業委員会事務局

〒619-0285

京都府相楽郡精華町大字南稻八妻小字北尻70番地

TEL 0774-95-1903 (産業振興課内)

FAX 0774-95-3973

メール [Seika-nogyoiinkai@town.seika.lg.jp](mailto:Seika-nogyoiinkai@town.seika.lg.jp)

